

令和2年9月8日
那覇港管理組合企画建設部
みなと振興課

那覇港公共国際コンテナターミナル RORO 船による実証実験を開始

那覇港の外貿貨物は、片荷輸送となっていることや取扱貨物量が少ないことが要因となり、海上輸送コストが割高となっています。

那覇港管理組合では、その課題解決に向けて、国内外の荷主や外貿船社に那覇港の利用を促進させるために荷主や船社への支援を行いながら外貿貨物増大に取り組んでいるところです。

今般、更なる取り組みとして、段階的に外貿貨物増大に資することを目的に、外内貿貨物を取り扱う定期船寄港による実証実験を行い、課題の抽出や効果を検証し、新たな利用形態の可能性を検討します。

実証実験の詳細は下記のとおりとなりますので、お知らせ致します。

記

- 1 実施期間：令和2年9月14日（月）～令和3年2月23日（火）
- 2 寄港頻度：週1回（月曜日20時接岸～火曜日11時出港）
- 3 船会社名：琉球海運株式会社（船名：みやらびⅡ）～公募により選定～
- 4 実験場所：那覇港新港ふ頭9号岸壁（裏面別紙参照）

【問い合わせ先】

- ・那覇港管理組合 企画建設部 みなと振興課 與儀、比嘉
TEL：098-868-2582 FAX：098-862-4233
- ・運営事務局（業務受注者）
一般社団法人 沖縄県貿易協会 比屋根、友知
TEL：098-866-9183 FAX：098-866-9219
- ・施設管理者（協力会社）
那覇国際コンテナターミナル株式会社 米田、松田
TEL：098-867-5931 FAX：098-867-5933

【位置図】



船名:みやらびⅡ (RORO 船)

(総トン数: 10,184トン、全長:約 170m、重量ト数 6,700ト、航路:台湾(高雄)→那覇→博多)

※コンテナ船:コンテナを専用に運ぶ船。荷役装置を持たず、専用岸壁のクレーン(ガントリークレーン等)で荷役を行う。

※RORO 船:トラックやトレーラーをそのまま運ぶ船。搭載ランプウェイで岸壁からそのまま積み下ろしができる。